

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立玉島小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 教科の特性に応じて話し合いの視点を明確にし、児童自身が目的意識を持って話し合いを進め、自分の考えを深めたり、広げたりできるようにしていきたい。 玉島っ子アンケート等を有効活用し、個と集団のバランスに配慮し、集団づくりを行ってきたい。 様々な場面で地域との交流が少なくなりましたが、積極的に地域人材を活用したり、地域素材を発掘したりしながら学習を進め「玉島学」の学びを深めていくとともに、地域に開かれた学校づくりを進めていきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>“たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう” 子どもの育成</p> <p>～豊かでたくましい心と体の育成と確かな学力の定着をめざして～</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、校内研究を中心に授業改善を進める。 ②集団づくりと特別支援教育の両視点から児童を育てる。 ③地域のよさ（ひと・もの・こと）を活かした豊かな体験活動を行う。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上	・マイプランに基づいた授業実践を共有することで、取組の促進と改善を図る。							学力向上CO(北村) 研究主任(佐伯)
	○児童が目的意識をもちながら学び合い、自分の考えを深めたり広げたりする授業を行う。自分の考えを表現する場を授業の中に設定する。	○学校評価の質問事項「グループタイムを通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」に肯定的な回答した児童70%以上	・「唐津の学びスタイル」の実践を図り、深い学びへつながる授業改善を行う。チェックシートを活用して学期毎に振り返る機会を設定する。							校内研究(佐伯、力武)
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学級アンケート「友達を支える力」「安心を生む力」の項目において肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・学級アンケートを年5回実施し、結果を目に見える形で児童へ返す等その活用方法について工夫する。 ・自問ノートや道徳ノートの児童の記述に価値を見出し、コメントを書く。 ・ここに集金(人権集金)を年間5回実施する。							道徳教育推進リーダー(中野) 特別活動部(松門・力武)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・玉島っ子アンケートを2か月に1回実施し、児童の生活の問題点を把握、改善する。把握したことや児童の様子などから、毎月1回程度の生活打ち合わせ会や連絡会等で気になることを共通理解をして話し合うようにする。							人権・同和教育(瀬戸) 生徒指導部(中野・瀬戸) 教育相談(岩村)
●健康・体づくり	○「運動習慣の改善や定着化」	○週に3日以上、授業以外で運動や外遊びを行う児童が75%以上	・朝や15分休み、昼休みの外遊びを奨励する。 ・縦割り活動の「レッツプレイ」に取り組み、体を動かす機会を増やす。							保体部(永瀨・井上・岩村)
	●「安全に関する資質・能力の育成」	○児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・事例研修などを適宜取り入れ、危機意識を高めておく。 ・安全教育は、実情に合わせて行い、体験的学びと振り返りを大切に、自ら命を守ろうとする意識を高める。 ・複数の目で安全点検を行い、未然防止に努める。							生徒指導部(中野・瀬戸) 教頭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・金曜日に定時退勤日を設定する。 ・平日18:30施設を目指す。 ・定期的に共有フォルダーや教材を整理し、様式や資料の共有化を図り、効率的に業務を進める。							教頭 事務主事(吉田)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員70%以上	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・伸びっ子研・ケース会議・支援会議等の開催、情報共有をする。							特別支援(田原・永瀨・井上)
○開かれた学校づくり	○保護者・地域との連携	○地域人材を活用した生活科・社会科・総合的な学習の時間(玉島学)を年間1回以上全クラスで実施	・玉島学で、全クラスで地域人材を活用する。 ・学校での学びを発信し、地域の関心を取り込んでいく。 ・サークルクラブのより良い活用法を探っていく。							教頭・教務
○小小連携、小中連携の推進	○9か年の学びを念頭に置いた、小小連携、小中連携の推進。	○浜玉中学校区での体験活動や授業公開等を実践する。(合同体験1回、授業公開1回以上)	・中学校区で共通目標を設定し、実践を行い、評価・改善していく。							教務

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---